

「世界に向かって個性輝く学校づくり推進事業」講演会

講 師	宍戸健一氏 国際協力機構（JICA）アフリカ部参事役
演 題	「スーダンの戦争と平和 ～日本の支援」
日 時	2月2日（木） 5限（13：30～14：20）
場 所	北越高校 北越ホール
対 象	北越高校 1年生

○最も新しい独立国「南スーダン」の独立について、そして、そこに関わってきた日本人とその支援についてお話いただきます。若い生徒たちが世界に関わっていく手がかりを示唆していただく講演会です。

宍戸健一（ししど・けんいち）氏

JICA アフリカ部参事役。前 JICA スーダン駐在員事務所長。1986年に旧国際協力事業団（現 JICA）に入団。本部、インドネシア事務所、森林環境協力課長などを経て、2004年よりガーナ事務所長、その後、国内勤務を経て、2007年7月から2011年3月までスーダン駐在員事務所長を務めた。兵庫県出身。

JICA（国際協力機構）ホームページ より

アフリカの国々で最大の面積を誇るスーダンは、2005年に北部と南部の紛争に終止符が打たれて和平協定が成立するまで、何十年もの内戦に悩まされ 200万人以上が亡くなったといわれています。その間、先進国からの援助もストップし、平和と近代化の針は止まったままでした。

内戦で疲弊しきったスーダンを救おうと尽力する「世界を救う日本人」2人目+α。それが、スーダン事務所長の宍戸健一さんと過酷な現場で明るく真剣に働く日本人たちです。

兵士たちを故郷に帰し、読み書き計算を教え、職業訓練を施し、仕事を与える。母子保険を整備し、病院を設置し、医療従事者を育てる。いま、スーダンで行われているのは、社会を一から作り直す事業です。まるで戦後の日本のようです。社会を平和に再生する壮大な仕事の中身を、宍戸さんたちにご案内いただきましょう。

池上彰 著「世界を救う7人の日本人 国際貢献の教科書」より